

平成22年度 事業報告書

財団法人川崎市文化財団が平成22年度に実施した事業は次のとおりです。

I 財団本部事業

1 文化事業

(1) 文化振興事業

① 文化情報誌「かわさきアートニュース」の発行

発行部数 毎月 3,500部

掲載内容 市内の美術館・ギャラリーの展覧会情報及び文化財団が実施する
催し物情報等

配布場所 区役所、市民館、ギャラリー等

② 芸能サロンの開催 「狂言を楽しもう」

日時 平成23年1月30日(日) 14:00開演

会場 川崎能楽堂

入場者数 148人

入場料 3,000円

公演内容 狂言師野村万蔵による、解説と公演

出演者 野村万蔵、野村扇丞、野村太一郎、山下浩一郎、高部恭史

演目 ぼんさん「盆山」 しゅうろん「宗論」

③ 第18回かわさき市民アンデパンダン展

開催期間 平成22年7月6日(火)から7月18日(日)まで

募集期間 平成22年4月25日(日)から5月31日(月)まで

会場 アートガーデンかわさき

出展数 311点

入場者数 1,256人

④ 演劇まつり

講座名 「第5回かわさき演劇講座」

開催日 平成22年7月24日(土)及び25日(日)

会場 スペース京浜

受講者 33人

⑤ 第20回 夏休み能楽体験・鑑賞教室の開催

夏休みに、わが国固有の伝統文化である能について、その歴史や見どころをわかりやすく解説し、能楽器に触れ、音を出したり、能舞台に上がり仕舞などの体験をする。また、講師による能公演を鑑賞する。

1日目 「能」のお話と子どもによる仕舞

平成22年7月25日(日) 13:00~15:00

初心者向けの能のお話(観世流能楽師 鵜澤 久)を聞き、その後、子供たちによる仕舞を鑑賞する。

2日目 「能」の体験教室

平成22年7月26日(月) 10:00~(午前の部)

13:30~(午後の部)

仕舞・謡・笛・小鼓・大鼓・太鼓の実技の体験

講師 仕舞・謡 鵜澤 久(観世流シテ方)

笛 内潟 慶三(森田流笛方)

小鼓 烏山 直也(観世流小鼓方)

大鼓 佃 良太郎(高安流大鼓方)

太鼓 徳田 宗久(観世流太鼓方)

3日目 「能」の鑑賞教室

平成22年7月31日(土) 11:00

講師による演能を鑑賞。終演後に能楽師と参加者との質疑応答。

演 目 ^{しゃり}「舍利」

出 演 鵜澤 光(観世流鍬仙会)ほか

参加人数 子ども 43人、大人 30人、
「舍利」鑑賞のみ参加 75人
計 148人

参加費 2,500円(鑑賞のみ2,000円)

⑥ 能楽教室の開催

内 容 謡曲、仕舞、笛、小鼓の能楽講座

回 数 125回開催

参加人数 約1,000人

講 師 角当 行雄 (観世流梅若会) 謡曲、仕舞

田邊 哲久 (観世流) 謡曲、仕舞

鵜澤 久 (観世流鍬仙会) 謡曲、仕舞

東川 光夫 (宝生流) 謡曲、仕舞

藤田 朝太郎 (一噌流) 笛

観世 豊純 (観世流) 小鼓

⑦ 歴史文化事業

ア 既存歴史ガイドパネルの点検、補修を行う。

イ 歴史ガイド特別見学会「中原往還」の開催

中世以前から続く古道であり、江戸時代には江戸への主要な街道のひとつであった中原往還について専門家が解説し、史跡等の見学会を開催する。

開催日 平成22年11月12日(金)、11月13日(土)

1日目

品川歴史館特別展「中原街道」展見学 14:00~15:40

大森貝塚見学 15:40~16:00

2日目

講義 13:00~14:00

(会場 中原区小杉御殿町 西明寺ホール)

・西明寺について

・小杉御殿について

現地見学 14:00~16:30

西明寺、小杉御殿の御主殿跡、小杉陣屋と次太夫三輪南遺跡、御蔵稻荷と多摩川、常楽寺

参加人員 38人

参加費 2,000円

(2) 芸術文化事業

① 川崎市定期能(能・狂言)の開催

ア 普及狂言(川崎しんゆり芸術祭公演)

大蔵流狂言山本家「狂言を楽しむ」

開催日 平成22年5月3日(月・祝)

演目内容解説 馬場あき子

狂言 「二人大名」 「縄綱」 「千切木」

出演 山本東次郎、山本則俊 他

入場料 3,500円

入場者 529人

イ 第90回川崎市定期能(喜多流)

開催日 平成22年9月18日(土)

第1部 能 「通小町」 香川靖嗣 他

狂言 「蟹山伏」 野村万蔵 他

第2部 能 「籠太鼓」 友枝昭世 他

狂言 「鐘の音」 野村万蔵 他

入場料 4,000円

入場者 296人

ウ 川崎能楽堂 狂言全集 第2回
開催日 平成22年10月9日(土)
狂言 「清水」^{しみず} 山本則俊 他
狂言 「惣八」^{そうはち} 山本東次郎 他
狂言 「梟」^{ふくろう} 山本則秀 他
狂言のお話 山本東次郎 他
入場料 3,000円
入場者 136人

エ 第91回川崎市定期能(観世流梅若会)
開催日 平成22年12月11日(土)
第1部 能 「俊寛」^{しゅんかん} 角当行雄 他
狂言 「福の神」^{ふくかみ} 三宅右近 他
第2部 能 「一角仙人」^{いっかくせんじん} 梅若玄祥 他
狂言 「宗八」^{そうはち} 三宅右矩 他
入場料 4,000円
入場者 276人

オ 第92回川崎市定期能(観世流)
開催日 平成23年3月12日(土)
第1部 能 「隅田川」^{すみだがわ} 観世恭秀 他
狂言 「苞山伏」^{つとやまぶし} 野村万蔵 他
第2部 能 「土蜘蛛」^{つちぐも} 田邊哲久 他
狂言 「柑子」^{こうじ} 野村万蔵 他
入場料 4,000円
入場者 182人

② 川崎郷土・市民劇準備事業

ア 川崎郷土・市民劇上演実行委員会の開催
川崎郷土・市民劇「柘形城・落日の舞い」(公演 H23.5.6~5.21 計5回)
実施に向けて計4回の開催

イ その他
企画会議の開催など

ウ シンポジウム等の開催

第1回 平成22年10月31日(日)

現地見学会(小沢城址、枳形城跡等)

参加者 31人

第2回 平成23年2月26日(土) 稲毛神社

シンポジウム「稲毛三郎とその時代」

参加者 64人

③ アートガーデンかわさき企画展の開催(共同開催を含む)

ア 写真展 「二ヶ領用水竣工400年」記念展

川崎区誌研究会及び川崎図書館と共催

期間 平成23年1月25日(火)～1月30日(日) 6日間

入場者総数 532人 入場料 無料

イ アートガーデン共同開催企画展

市民の創造的な文化活動を支援するため、芸術作品等の発表の場を提供し、市民が鑑賞できる事業を共同で開催する。

「視点展」 (6月)

「川崎平和美術展」 (8月)

「川崎美術協会展」 (9月)

「江戸の文華」 (10月)

「川崎区文化協会美術展」 (11月)

「川崎市書道連盟展」 (11月)

「佐藤惣之助・生誕120周年記念展」 (11月)

「川崎市立高等学校芸術祭」 (1月)

④ かわさきかるた原画展(川崎市と共同開催)

川崎を紹介したかるたの原画展を行う。

アートガーデンかわさき

期 間 平成22年12月14日(火)～12月17日(金)4日間

展示作品数 44点

入場者総数 175人 入場料 無料

(3) 文化施設運営事業

① 川崎能楽堂の供用

利用件数 226件

内訳	能楽団体	}	
	謡・仕舞		9件
	謡		27件
	仕舞		4件
	計		40件

各種団体	三曲(箏、三弦、尺八) 邦楽(小唄、長唄ほか)	17件
	舞踊	8件
	民謡・詩吟ほか	4件
	演芸・洋楽ほか	4件
	その他(講演等)	5件
	計	38件

財団主催 及び共催	定期能・狂言	8件
	事業 ことども能楽体験教室	3件
	子供能楽教室	11件
	能楽教室	126件
	計	148件

② アートガーデンかわさきの供用

川崎駅前タワーリパーク3階のアートギャラリーの管理運営を行う。

利用期間 火曜日から日曜日の6日間

(年末年始、点検日等、全館休館日を除く)

利用時間 午前10時から午後7時まで

利用形態 川崎市文化財団主催事業 6件

全室利用 3件

第1展示室利用 2件

第2展示室利用 0件

第3展示室利用 1件

一般利用 72件

全室利用 18件

第1+第2展示室利用 5件

第2+第3展示室利用 4件

第1展示室利用 13件

第2展示室利用 14件

第3展示室利用 18件

利用率	利用可能件数	各室49件(利用期間は週単位)
	第1展示室利用	41/49件 83.7%
	第2展示室利用	44/49件 89.8%
	第3展示室利用	44/49件 89.8%
	平均	87.8%

入場者数 45,871人

③ ラゾーナ川崎プラザソルの供用

ラゾーナ川崎プラザ5階の多目的小ホールの管理運営を行う。

利用期間 年中無休(点検日及び全館休館日を除く)

利用時間 午前10時から午後10時まで

利用件数	ホール利用	695件	
利用率	利用可能件数	933件	1日を3区分（午前・午後・夜間）
	利用可能日数	311日	
	利用件数/利用可能件数	74.5%	
入場者数		32,995人	

④ 新百合トウエンティワンホールの供用及び自主事業

ア 新百合トウエンティワン地下2階の多目的ホール、会議室等の管理運営を行い、芸術文化施設としての活用を図る。

利用期間	年中無休（年末年始、点検日等を除く）		
利用時間	午前9時から午後9時まで		
利用率	・多目的ホール	89.2%	
	・第1会議室	48.1%	
	・第2会議室	50.0%	
	・第1研修室	46.7%	
	・第2研修室	48.4%	
	・第3研修室	39.0%	
	・控室1A（練習室A）	37.8%	
	・控室1B（練習室B）	34.6%	
	・控室2	60.2%	

イ 自主事業

- ・女優たちによる朗読「夏の雲は忘れない」

平成22年7月5日（月）

入場料 大人2,000円 小中高生 1,000円

入場者数 朗読 403人

ジョー・オダネル写真展 89人

交流会 90人

- ・川崎・しんゆり芸術祭2011イベント

アルテリッカしんゆり美術展2011

麻生区美術家協会・麻生区文化協会美術工芸部会合同開催

平成23年2月28日（月）～3月6日（日）

入場料 無料

展示作品数 75点

入場者 1,705人

(4) 川崎・しんゆり芸術祭事業

①川崎・しんゆり芸術祭2010の開催

期 間 平成22年4月24日（土）から5月9日（日）の16日間

会 場 新百合ヶ丘駅周辺のホール等

公演数 33演目 45公演

総入場者数	約 21,700人
ホール入場者数	約 13,100人 (ホール席数の約70%)
公演以外の入場者数	約 8,600人
・映画	約 1,800人
・アート市	約 900人
・子ども広場	約 2,500人
・大道芸	約 2,000人
・その他 (こども狂言教室ほか)	約 1,400人

公演演目 (主催者 5団体)

- ◆川崎・しんゆり芸術祭2010実行委員会
 - ・安達久美フュージョン・ロックコンサート
 - ・小川典子コンサート
 - ・オペラシアターこんにゃく座オペラ『ネズミの涙』
 - ・人形劇団ひとみ座「あやうしズッコケ探検隊」
 - ・藤原インターナショナルコンサート
 - ・劇団民藝「神戸北ホテル」
 - ・デフ・パペットシアター・ひとみ
「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」
 - ・京楽座 中西和久ひとり芝居「しのだづま考」
 - ・ゆったり・バロック・しんゆりがおか
「藤原歌劇団が贈るバロック声楽曲の世界」
 - ・山猫合奏団「セロ弾きのゴーシュ」
 - ・劇団飛行船マスクプレイ「アルプスの少女ハイジ」
 - ・演劇集団 円 金田明夫の絵本ひとり語り「あらしのよるに」
 - ・和太鼓「梵天」10周年記念公演『空』～kuu～
 - ・守屋純子「J a z z M e e t s C l a s s i c」ライブ
 - ・ハンスの冒険&ミュージカルショー
 - ・東京交響楽団アンサンブルコンサート
- ◆昭和音楽大学・川崎・しんゆり芸術祭2010実行委員会
 - ・瀋陽音楽学院 青年民族管弦楽団コンサート
- ◆昭和音楽大学
 - ・国府弘子ピアノ de シネマ～昭和音楽大学管弦楽団とともに～
- ◆財団法人日本オペラ振興会
 - ・日本オペラ協会公演「魅惑の美女はデスゴッデス！」
- ◆川崎市アートセンター (川崎市文化財団グループ)
 - ・ホナガヨウコ企画 音体パフォーマンス公演『リアル感電』
 - ・こどもと大人とアーティストがつくる舞台『Be A Clown!2010』
 - ・明日の巨匠たち
昭和音楽大学・同短期大学
玉川大学芸術学部パフォーマンスアート学科
私立桐光学園高校

川崎市立高津高校

- ・「人間を撮る、地域をみつめる」

◆財団法人川崎市文化財団

- ・大蔵流狂言山本家「狂言を楽しむ」
- ・アルテリッカ・ダンスパーティ 昼／夜
- ・アルテリッカ演芸座「落語（近未来の）名人会」
- ・アルテリッカ演芸座「アルテリッカ寄席」
- ・アルテリッカ演芸座「マセキライブ@しんゆり」
- ・アルテリッカ演芸座「子ども寄席」

②川崎・しんゆり芸術祭2011（アルテリッカしんゆり）準備事業

ア 川崎・しんゆり芸術祭2011実行委員会の開催

川崎・しんゆり芸術祭2011（2011.4.29～2011.5.8）実施に向けて計3回の開催

イ その他

企画会議の開催など

(5) しんゆり芸術まちづくり事業

①しんゆり芸術まちづくり実行委員会の開催

文化・芸術のまちづくりを推進するため2回開催

②こども狂言教室の開催

平成22年12月11日～平成23年3月27日

全15回

参加者数 39人

会場 新百合トウエンティワンホール

③ アート講座の開催

平成22年10月16日～平成23年3月5日

全10回

参加者数 47人

会場 昭和音楽大学校内ラ・サーラ・スカラ、日本映画学校他